

平成26年度 京都市会 10大ニュース

市会議員(前任期)の投票により、平成26年度の京都市会10大ニュースを決定しました。結果は次のとおりとなっています。

それぞれのニュースの詳細は市会ホームページに掲載していますので、ぜひ御覧ください。

- 1位 通年議会の導入**
平成26年度から導入。それまで年4回としていた定例会の回数を1回に改め、会期をおおむね1年としたことで、ほぼ1年間、市会の権限で本会議を開催できるようになりました。
- 2位 京都市会基本条例の施行**
平成26年4月1日施行。条例では、京都市会や京都市会議員が議会活動を行ううえでの理念や原則・制度など、基本的なことを定めています。
- 2位 議員報酬10%カット、その後8月豪雨被害対策に活用**
京都市会では市会議員の報酬を平成23年度から10%削減しています。平成26年度に議員報酬削減によって生じた7,900万円は、9月市会において、8月豪雨による農林や道路への被害対策に活用することを決定しました。
- 4位 京都市会大規模災害対応指針の策定**
- 5位 「投票率向上のための取組」に係る龍谷大学とのワークショップの開催**

- 6位 議会報告会の試行実施**
- 7位 議員提案により全国初の「清酒の普及の促進に関する条例」を制定した京都市での日本酒条例サミットの開催**
- 8位 早稲田大学マニフェスト研究所議会改革度調査ランキング全国9位**
- 9位 在京都フランス総領事シャルランリ・ブローソー氏による議員研修の実施(市民の傍聴が可能に)**
- 10位 ラグビーワールドカップ議員連盟の発足**
- 10位 子ども用京都市会リーフレット「おしえて!京都市会」を作成**

市会改革での議論を踏まえて実施された「通年議会の導入」や「京都市会基本条例の施行」などがランクインしたよ。本紙6面で、過去4年間の市会改革の取組を紹介しています。



京都市会大規模災害対応指針を策定しました


市会改革推進委員会では、近年、風水害が発生していることなどから、災害発生時の京都市会の対応について、議論を深めました。その結果を基に、大規模災害発生時に京都市会や議員が、被害の拡大防止や災害復旧に向け、どのように対応すべきか共通の認識を持ち、迅速かつ適切な行動を取るための指針を策定しました。

特徴

- 近年、大雨による被害が多数発生していることを踏まえて、「地震」だけでなく「風水害」への対応を記載。
- 本会議や委員会の開会予定日に気象特別警報が発表される可能性があるときを、「準備期」として、対応を記載。
- 災害発生時の「初動期」を、「会議開会中」と「会議開会中以外」に分け、それぞれの対応方針を記載。

傍聴者アンケートのご意見を市会運営に反映しています!

本会議を傍聴いただいた皆様に回答いただいたアンケートの内容を反映し、平成27年2月市会から次の点を改善しました。



- 午後の休憩時(午後3時頃、約20分間)は、傍聴席で御休憩いただけるようにしました。
- 本会議開会日には、市役所の北庁舎東側入口前(河原町通側)に案内看板を、本庁舎正面玄関に案内表示を設置するようにしました。


市会からのお知らせ

12人の議員が勇退しました

3月20日の本会議で、4月29日限りで勇退する12人の議員へ、市長と議長からはなむけの言葉が贈られ、勇退議員を代表して高橋泰一朗議員から謝辞が述べられました。

◇勇退議員◇

高橋 泰一朗 (伏見区)	井上 教子 (下京区)
加藤 盛司 (中京区)	津田 早苗 (伏見区)
谷口 弘昌 (伏見区)	宮田 えりこ (山科区)
内海 貴夫 (東山区)	山元 あき (右京区)
大西 均 (左京区)	佐々木 たかし (中京区)
岩橋 ちよみ (右京区)	香川 佐代子 (中京区)



広報の取組

本会議の傍聴・委員会のモニター放映等
本会議と予算・決算特別委員会の総括質疑は議場で傍聴することができます。委員会は市役所本庁舎2階のモニター室でモニター放映を御覧いただけます。

テレビ放映
本会議の代表質問・代表質疑の様態をKBS京都テレビで同時中継しています。

インターネット議会中継
市会ホームページで、本会議や委員会の生中継と録画の配信を行っています。

紙面に関する御連絡・お問い合わせは 市会事務局調査課 TEL:075-222-3697 FAX:075-222-3713